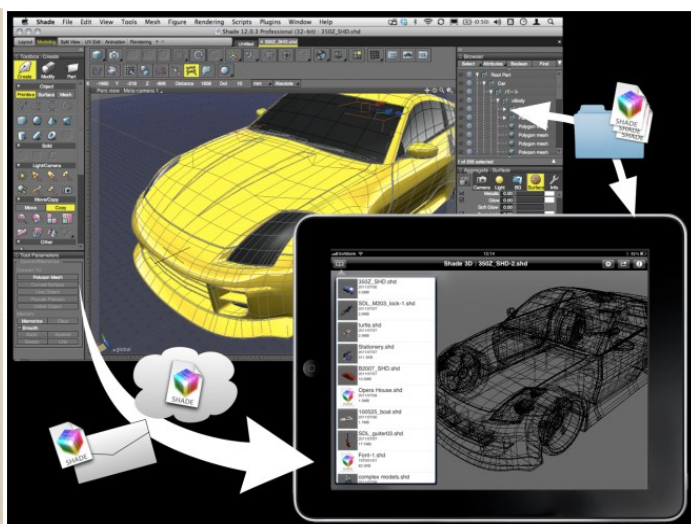
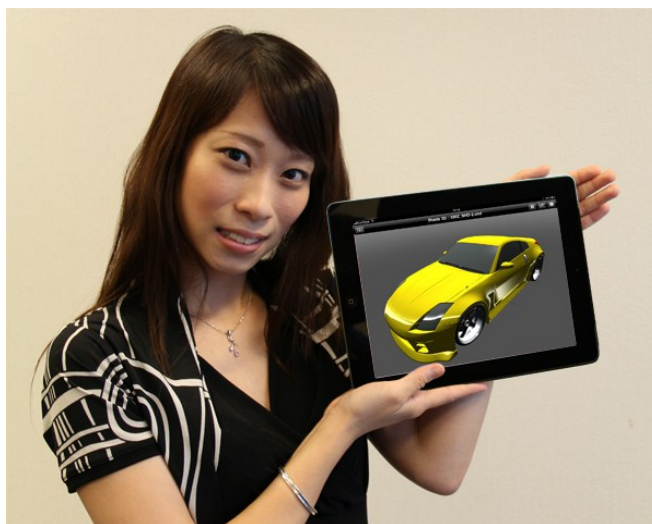


iPadで3Dファイルを持ち歩こう！

Shade 3D mobile

ShadeファイルをiPadのマルチタッチジェスチャーで
 360度どの方向からも軽快に3D形状を確認できる「Shade 3D mobile」を
2011年7月25日より無料で配布いたします



3Dでプレゼンテーションを！

Shade 3D mobileではiPadの直感的な操作で3D形状をすばやく閲覧できます。iPad 2を用いるとコンピューター用のモニターやHDMI搭載テレビにShade 3D mobileの画面を映し出して（別途接続ケーブルが必要です）印象的なプレゼンテーションを行うことが可能になります。

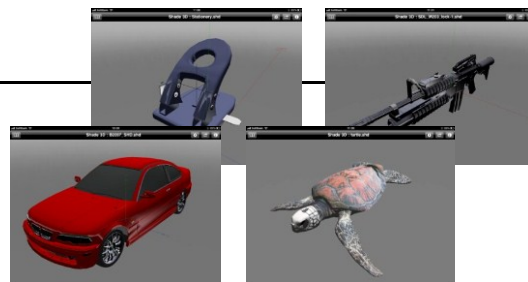
また、手を触れていなくてもターンテーブルに乗せたように形状を周囲から見る事ができる「自動回転」モードも搭載しました。もちろん、3Dビューワーの画面をカメラロールへ画像として保存することも可能です。

らくらくファイル転送機能

さなごななシーンで自然にお使いいただけるように、Shade 3D mobileには多彩なファイル転送機能を搭載しました。

- iTunesのドキュメントフォルダを介して、多数のファイルをまとめて管理
- メール添付された.shdファイル（Shade3D形状）を開いて読み込み
- DropBoxなどのクラウドドライブに保存されたファイルを読み込み

Shade 3D mobileに読み込んだShadeファイルをiPadのマルチタッチジェスチャーで360度、どの方向からも軽快に3D形状を確認できます。プレゼンテーションや打ち合わせの席で、3Dファイルを用いたコミュニケーション・ツールとしてご活用ください。
 ※サンプルとしてShade形状ファイルが4つ付属しています。



iTunes App Storeから無料でダウンロードできるShade 3D mobileは、iPad、iPad 2をお持ちの方ならどなたでもShadeファイルを開覧することができるアプリです。

Shade 12



Shade + iPadで広がる可能性

Shade 3D mobileで読み込み可能なファイル形式はShade (.shd) 形式のみですが、日本国内で最も利用されている3DCGソフトウェアShadeシリーズをファイル変換ツールとして用いることで、利用可能な3D形状が爆発的に増えます。

Shadeシリーズ中最もお求めやすいShade 12 Basic (12,800円) でも、Wavefront OBJやDXF、Google SketchUp形式などのファイルを読み込んで、Shade形式へ変換できるので、さまざまな3D形状データをiPadに入れて持ち歩くことが可能になります。

Shade 3D mobile 動作環境

対応機器：iPad、iPad 2 (iOS 4.3以降) ※iPhoneでは動作しません。

読込可能ファイル：Shade (.shd) 形式

※ 記載されている製品名・会社名・サービス名・ロゴは、各社の登録商標または商標です